

科目コーディネータ (科目責任者)	仲 哲治 教授		問合せ先	医学部教務課 大学院担当				
科目コーディネータ所属	医歯薬総合研究所 分子病態解析部門		連絡先	内線5512、5511/ idaigakuin@j.iwate-med.ac.jp				
講義場所	-							
区分等	区分	講義	回数	後期 8 回	単位	1	配当年次	1・2
担当教員	吉岡 邦浩 (放射線医学講座 教授) 高橋 史朗 (医用工学分野 教授) 服部 有宏 (客員教授) 金田 安史 (客員教授) 三橋 紘子 (非常勤講師)			南野 研人 (客員教授) 徳増 有治 (客員教授) 小林 恵子 (非常勤講師) 青山 裕紀 (非常勤講師)				
教育成果 (アウトカム)	教育成果 専門領域において高度な知識を実践的に活用して活躍する産業界・アカデミア所属の講師から、橋渡し研究や産学連携に関する知識を涵養することにより、研究アイデアの実用化やベンチャー企業の設立などに関する実践的な知識とスキルを学ぶ。大学発の研究成果の社会実装を促進することができる。						該当するディプロマポリシー 1,2,3,4,5,6,7,8	
達成目標	達成目標				対象講義			
	(1) 生命医学領域の研究開発の実際、および産学官連携の実例などを学び、イノベーション創出のための基礎的知識を修得する。				1,2,3,4,5,6,7,8			
	(2) 講義の中で直接指導を受け、様々な専門家の関与や産学協同により、自らの学びや知識を社会実装することを目指すようになる。				1,2,3,4,5,6,7,8			
資格取得等								
成績評価方法	<p>【2021年度以降の入学者】 受講票により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。</p> <p>【2020年度までの入学者】 出席、レポートなどにより総合的に評価する。</p>							
特記事項	<p>各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 受講票の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 講義資料、課題提出に関しては、Web Classを活用し、講義動画をe-learningシステムで配信する。</p> <p>【2021年度以降の入学者】 受講後2週間以内に「受講票」を作成し、Web Classにアップロードすること。なお、講義を欠席した場合やオンデマンド形式の講義、秋入学者については、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までにWeb Classにアップロードすること。</p> <p>【2020年度までの入学者】 講義の欠席は履修手帳で管理する。講義を欠席した場合は、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までに「受講票」をWeb Classにアップロードすること。</p> <p>※2023年度入学者から、必修科目とする。</p>							
教科書・参考書								

月日	曜日	時限	内容/到達目標	担当教員	講義場所
6月22日	土	3	(1) トランスレーショナル・リサーチ（企業の創薬研究の実際） 診断薬・治療薬の創出を出口戦略としている企業の創薬研究の進め方を理解し、論文作成を1つの目標とする大学での学術研究と上手く融合させ、大学発の研究成果を社会実装させることが出来る研究計画を立てること。	服部有宏 (客員教授)	Zoom
7月6日	土	3	(2) 産学連携（産学連携の在り方） 産学連携を構築し、産学共同で大学発の研究成果を社会実装することができる実用化研究のあり方を理解する。	金田安史 (客員教授)	Zoom
7月27日	土	3	(3) PMDA対面助言・薬機法について 診断薬・治療薬の創出に必要なPMDA対面助言や薬機法を理解し、大学発の研究成果の社会実装に必要な薬効・毒性試験・品質規格試験・治験プロトコールなどの規制当局への対応に関する知識を取得する。	三橋紘子 (非常勤講師)	Zoom
		4	(4) 知財戦略の立て方、考え方 企業との産学連携に重要な知財の取得および維持に関する知識（知財を取得するための戦略、他から知財を守るための戦略）を取得する。	南野研人 (客員教授)	Zoom
8月3日	土	3	(5) ベンチャー設立と運営 大学発の研究成果を社会実装させる際に大きな障壁となる死の谷、すなわち非臨床研究から臨床研究への移行時に必要となる研究費の増額を資金面で賄うベンチャー企業の設立仕方と運営に関する知識を取得する。	徳増有治 (客員教授)	Zoom
8月配信予定			(6) TR支援体制 大学内でのTR支援体制を理解し、企業との共同研究などを通じた大学発の研究成果の社会実装に必要な知識を取得する。	吉岡邦浩 (放射線医学講座) 高橋史朗 (医用工学分野)	e-learning (動画視聴)
8月3日	土	4	(7) 治験 診断薬・治療薬の創出に必要な治験の仕組みを理解し、医師主導治験・企業治験などの治験実施に関する知識を取得する。	小林恵子 (非常勤講師)	Zoom
9月7日	土	3	(8) SaMD（医療機器プログラム） プログラム医療機器に関する知識を取得することで、海外に遅れを取っている服薬管理や健康維持などに関するアプリの創出の仕方を理解する。	青山裕紀 (非常勤講師)	Zoom